

各位

2013年7月31日

ヤマハ株式会社

**2014年3月期第1四半期連結業績の概要と
通期連結業績予想について**

□ **第1四半期業績の概要** — 対前年同期増収、増益 —

2014年3月期第1四半期の売上高は、対前年同期で、為替による104億円の増収影響を受け、70億円(7.7%)増加の970億円となりました。セグメント別では、楽器事業および音響機器事業が為替影響を除くと実質減収、電子部品事業は増収、その他の事業は減収となりました。

営業利益については、対前年同期で、為替による26億円の増益影響を受け、19億円(45.0%)増加の62億円となりました。営業利益の増加に伴い、経常利益は25億円(65.9%)増加の63億円、四半期純利益は32億円(121.1%)増加の58億円となりました。

□ **事業セグメント別の売上高・営業損益の状況**

・ **楽器事業 売上高 626億円(前年同期比 6.4%増) 営業利益 44億円(前年同期比 38.5%増)**

ピアノは、北米で好調に推移しているものの、欧州での販売が低調であったほか、中国をはじめとする新興国の売上げも厳しい状況でした。電子楽器は、デジタルピアノが堅調であったものの、ポータブルキーボードの海外での販売が振るいませんでした。管弦打楽器は、管楽器が北米で、ギターが国内および中国で堅調に推移しました。音楽教室による収入は、生徒募集での苦戦が継続しました。

セグメント全体の売上高は、為替による66億円の増収影響を受け、38億円(6.4%)増加の626億円となりました。

営業利益は、為替による19億円の増益影響を受け、12億円(38.5%)増加の44億円となりました。

・ **音響機器事業 売上高 235億円(前年同期比 14.4%増) 営業利益 9億円(前年同期比 14.8%減)**

オーディオ機器は、欧州および新興国で売上げを伸ばし、北米でも堅調に推移しました。PA機器は、北米、欧州および新興国で売上げを伸ばしましたが、国内での販売が低迷しました。ネットワーク機器は、ルーターの販売が振るいませんでしたが、業務用通信カラオケ機器は受注が拡大し売上げを伸ばしました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、為替による35億円の増収影響があり、30億円(14.4%)増加の235億円となりました。

営業利益は、為替による6億円の増益影響があったものの、PA機器の開発費先行等により、1億円(14.8%)減少の9億円となりました。

・ **電子部品事業 売上高 46億円(前年同期比 20.4%増) 営業利益 4億円(前年同期 6億円の営業損失)**

半導体は、スマートフォンの需要拡大に伴い、地磁気センサー(電子コンパス)およびコーデックが売上げを伸ばし、増収となりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、8億円(20.4%)増加の46億円となりました。

営業利益は、増収に加えて固定費削減の効果もあり、4億円(前年同期は6億円の営業損失)と黒字化しました。

・ **その他の事業 売上高 63 億円（前年同期比 7.9%減） 営業利益 4 億円（前年同期比 29.3%減）**

自動車用内装部品は、前年同期に納入先のモデルチェンジによる需要があったため、当第1四半期は減収となりました。FA 機器は、中国をはじめとする新興国で売上げを伸ばしました。ゴルフ用品は、韓国を中心とする海外で売上げを伸ばしたものの、国内で苦戦し、減収となりました。国内のリゾート事業は、集客が好調に推移し、増収となりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、5 億円（7.9%）減少の 63 億円となりました。

営業利益は、2 億円（29.3%）減少の 4 億円となりました。

□ **2014 年 3 月期通期連結業績予想について** — 前回予想を上方修正 —

2014 年 3 月期通期連結業績予想は、4 月 30 日公表時には、売上高 3,900 億円（前期比 6.3%増）、営業利益 180 億円（前期比 95.3%増）、経常利益 165 億円（前期比 92.3%増）、当期純利益 135 億円（前期比 227.5%増）としておりました。

今回の業績予想では、当第1四半期の業績および今後の事業動向、為替動向等を考慮し、売上高 4,080 億円（前期比 11.2%増）、営業利益 200 億円（前期比 117.0%増）、経常利益 185 億円（前期比 115.6%）、当期純利益 165 億円（前期比 300.3%増）に修正いたします。

尚、今回の業績予想にあたっては、想定為替レートを、従来の対 US ドル 85 円、対ユーロ 115 円から、対 US ドル 95 円、対ユーロ 125 円に見直しております。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、原則億円未満四捨五入で記載しております。

() 内は原則前年同期比増減率です。

尚、当第1四半期より、従来の「AV・IT」事業を「音響機器」事業に名称変更いたしました。

また、セグメント区分を見直し、「楽器」事業に含まれていた PA 機器を「音響機器」事業に変更しております。

前年同期比の金額、増減率については、変更後の区分方法により計算いたしました。

以上

2014年3月期第1四半期業績資料

ヤマハ株式会社

2013年7月31日

	第1四半期予想 (13/4/30発表) 14年3月期	第1四半期実績 14年3月期	前期第1四半期実績 13年3月期	前当期予想 (13/4/30発表) 14年3月期	当期予想 14年3月期	前期実績 13年3月期
売上高	940億円	970億円	900億円	3,900億円	4,080億円	3,669億円
国内売上高	433億円 (46.1%)	427億円 (44.0%)	454億円 (50.4%)	1,684億円 (43.2%)	1,658億円 (40.6%)	1,658億円 (45.2%)
海外売上高	507億円 (53.9%)	543億円 (56.0%)	446億円 (49.6%)	2,216億円 (56.8%)	2,422億円 (59.4%)	2,012億円 (54.8%)
営業利益	25億円 (2.7%)	62億円 (6.4%)	43億円 (4.7%)	180億円 (4.6%)	200億円 (4.9%)	92億円 (2.5%)
経常利益	20億円 (2.1%)	63億円 (6.5%)	38億円 (4.2%)	165億円 (4.2%)	185億円 (4.5%)	86億円 (2.3%)
当期利益	15億円 (1.6%)	58億円 (6.0%)	26億円 (2.9%)	135億円 (3.5%)	165億円 (4.0%)	41億円 (1.1%)
為替レート(決済レート)	85円/US\$ 115円/EUR	98円/US\$ 121円/EUR	81円/US\$ 106円/EUR	85円/US\$ 115円/EUR	96円/US\$ ^(*) 124円/EUR	82円/US\$ 103円/EUR
ROE ^(**)	2.7%	10.1%	5.4%	5.8%	7.0%	1.9%
ROA ^(**)	1.6%	5.9%	3.0%	3.4%	4.2%	1.1%
1株当たり利益	7.7円	30.1円	13.6円	69.7円	85.2円	21.3円
設備投資額 (減価償却費)	47億円 (29億円)	21億円 (29億円)	26億円 (26億円)	154億円 (135億円)	148億円 (137億円)	138億円 (116億円)
研究開発費	58億円	57億円	56億円	235億円	240億円	221億円
(キャッシュフロー)						
営業活動	64億円	▲18億円	▲34億円	278億円	263億円	78億円
投資活動	▲39億円	▲7億円	▲38億円	▲154億円	▲118億円	▲126億円
フリーキャッシュフロー	25億円	▲25億円	▲72億円	124億円	145億円	▲49億円
期末在庫高	808億円	899億円	799億円	760億円	794億円	820億円
(要員数)						
国内	7,200人	7,108人	7,629人	7,000人	7,000人	7,143人
海外	13,000人	12,759人	12,346人	13,100人	13,200人	12,545人
正社員計 ^(***) (連結範囲変動による増減)	20,200人 (50人)	19,867人 (43人)	19,975人 (171人)	20,100人 (55人)	20,200人 (55人)	19,688人 (173人)
正社員外要員(期中平均)	8,300人	8,329人	8,770人	7,900人	8,200人	8,198人
(事業別売上高)						
楽器 ^(***)	615億円 (65.4%)	626億円 (64.5%)	588億円 (65.3%)	2,465億円 (63.2%)	2,580億円 (63.2%)	2,355億円 (64.2%)
音響機器 ^(***)	220億円 (23.4%)	235億円 (24.2%)	205億円 (22.8%)	995億円 (25.5%)	1,060億円 (26.0%)	926億円 (25.2%)
電子部品	40億円 (4.3%)	46億円 (4.8%)	39億円 (4.3%)	190億円 (4.9%)	190億円 (4.7%)	150億円 (4.1%)
その他	65億円 (6.9%)	63億円 (6.5%)	68億円 (7.6%)	250億円 (6.4%)	250億円 (6.1%)	238億円 (6.5%)
(事業別営業利益)						
楽器 ^(***)	20億円	44億円	32億円	120億円	140億円	64億円
音響機器 ^(***)	5億円	9億円	10億円	55億円	55億円	46億円
電子部品	0億円	4億円	▲6億円	0億円	0億円	▲20億円
その他	0億円	4億円	6億円	5億円	5億円	3億円

(単独の状況)

売上高	587億円	636億円	2,314億円
営業利益	28億円 (4.8%)	20億円 (3.1%)	▲42億円 -
経常利益	82億円 (14.0%)	55億円 (8.7%)	62億円 (2.7%)
当期利益	89億円 (15.2%)	54億円 (8.4%)	58億円 (2.5%)

* 1, 2 ROE・ROAは年換算値

* 3 要員数=期末社員在籍数

* 4 2014年3月期第1四半期より、AV・IT事業の名称を音響機器事業へ変更し、PA機器を楽器事業から音響機器事業に移動しています。これに伴い2013年3月期の数値も新セグメントに組替えて表示しています。

* 5 2Q-4Q為替レート US\$=95円、EUR=125円

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。